

令和2年度 生徒指導研究委員会アンケート調査について

「持続可能な生徒指導」を目指して

生徒指導研究委員会研究テーマ

～ 学校の“困り感”と新たな課題に関する考察 ～

《令和2・3年度》

1 テーマ設定の理由

学校現場は、日々、細大様々な出来事への対応に追われています。学校に「価値観の多様化」という概念が定着して既に久しい中、教職員は例えば保護者対応などに心を砕き、学校管理職は適時適切な舵取りに苦慮するという実態が日常化しつつあると思われます。

また、情報の公開やしっかりとした説明が求められる昨今の社会の状況。民法の一部改正に伴って、令和2年度（定時制の場合は令和元年度）の新入生からは在学中に成年年齢に達するという現実。そして教員志望者の減少などに見て取れる、人材確保の難しさや人材育成の必要性に直面している実態。などなど。

これらの中にあって、生徒指導の側面から考察した学校は、今後に向けてどのような校内体制の在り方や、外部機関との連携などを含めた組織としての力量などが必要とされるのだろうか。という課題認識に対して、全国の校長の意見や知見を共有することで解決の糸口を探り、様々な視点や考え方へのアプローチを図ることを目的として見据えました。

※ 「困り感」は(株)学研の登録商標ですが、研究テーマを的確に表現する用語であるために使用させていただきます。

2 具体的な研究内容

《令和2年度》

- (1) 生徒指導に係る諸課題の現状
- (2) 生徒指導上の新たな課題
- (3) 生徒指導と『働き方改革』

《令和3年度》

- (1) 令和2年度の調査研究の深化
- (2) “生徒指導マインド”と若手の人材育成

3 調査と研究の趣旨

生徒指導研究委員会では、生徒たち一人ひとりの社会的資質や行動力を高め、人格のよりよい発達を目指した生徒指導が「持続可能」な教育活動であるために、次の三つの視点から課題を洗い出すとともに、具体的な方策の検討と共有を進めたいと考え、全国の校長先生方にアンケート調査をとおして御協力をいただくことといたします。

- (1) 社会全体の要請や教育施策の動向などを踏まえ、学校が“不易”と“流行”を適切に見極めるなどして、教育機関として求められている役割を果たす。

- (2) 生徒指導に係わる“対応せざるを得ない状況”や“避けられない関係性”などにより、管理職や教職員が多く の時間と労力を割かれ、学校が「生徒に真摯に向き合う」という本来の姿が損なわれることのないように、「働き方改革」の観点も含めて考える。
- (3) 主に生徒指導に係わる職務における、現職の管理職（教頭・副校長など）のスキルアップも含めて、次代を担う中堅・若手教職員の資質や能力の向上を図るとともに、生徒一人ひとりの人格的な成長を目指した本来的な業務に、学校が注力できる教育環境の在り方を描く。

収集された調査結果は、生徒指導研究委員会において分析・検討して様々な機会と方法を捉えて共有を図るとともに、一定の提言につなげていけるように更に研究を深めます。

本テーマによる調査研究は、令和2年度・同3年度の2年間にわたって行います。

4 アンケート調査の具体的な方法

全国の校長先生に研究テーマに沿ったアンケート調査に御協力をいただきます。

- (1) アンケート調査は概ね次のようなカテゴリから構成されています。各カテゴリには設問の趣旨が記載されていますので、お汲み取りをいただき御回答ください。
- 《カテゴリA》 生徒指導に係る諸課題の現状【A・設問1】～【A・設問4】
 - 《カテゴリB》 生徒指導上の新たな課題【B・設問1】～【B・設問4】
 - 《カテゴリC》 生徒指導と『働き方改革』【C・設問1】～【C・設問2】
- (2) 各都道府県とも **5名の校長先生**を御回答の対象とします。課程・学科などによる分類や指定は特にしませんが、次の2点を踏まえてください。
- 令和2年度の「生徒指導研究協議会」に御出席（予定）の校長先生は、可能な限り回答に御協力ください。
 - 全5校の中に、**2校以上の普通科の学校**を含めてください。学年制・単位制等は問いません。

5 アンケート調査の回答と提出

御協力をいただきましたアンケート調査の回答は、次の各項目を確認の上、神奈川県まで御提出ください。学校名を記入していただく必要はありません。

- (1) 都道府県ごとに5通の「(Excel) 回答シート」を取りまとめてください。
- 集計などの作業をしていただく必要は、一切ありません。5通を“そのまま”一括して電子メールに添付して送信してください。
 - 各校で御回答をいただいた「(Excel) 回答シート」のファイル名は次のとおりにしてください。ファイル名の重複を避けるために、取りまとめの際には任意に①～⑤のナンバーを付してください。

【□□都道府県①～⑤】全高長：生徒指導（回答）

(例) 【神奈川県③】全高長：生徒指導（回答）

- 「(Excel) 回答シート」を御提出いただく電子メールの件名は、次のとおりにしてください。

【〇〇都道府県】全高長：生徒指導（回答）
（例）【神奈川県】全高長：生徒指導（回答）

(2) 提出期限と回答の送付先は次のとおりです。

- 送付期限 令和2年8月28日（金）
- 送付先 神奈川県立市ヶ尾^{いちがお}高等学校 校長 瀬高^{せたか} 真一郎^{しんいちろう}
メールアドレス setaka-7vk@open-kanagawa.ed.jp